

はにい

一番大切なもの

平成24年11月6日

—— みんなの一番大切なものって何かなあ。
「友だち」「兄弟」「ペット」「家族」「いのち」・・・

ここは、住宅地の一軒家。リビングに黒板のように布が貼られ、子どもたちが「授業」を受けています。集まった子は、3、4年生があわせて8人。今日のテーマは「生命の歴史」です。



今日、参観することになったきっかけは、「いのちの授業」のホームページにいただいた一通のメールでした。（[いのちの授業]<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f417796/>）

>私は、教師をしていたのですが病気になってしまって、
>以前のように仕事をすることができなくなってしまいました。
>でも、まだできることはあると思って、自宅で命について考える教室をはじめました。
>そんな折、このホームページを知ったのでメールしてみました。

関谷先生は元教師。病気で教師を辞めざるを得なくなった。でも、自分は授業がやりたい。学習塾のようなものでなく、その子が将来困ったときに思い出して助けになるような、そんな授業をしたい。1時間おきに薬を飲んでいればなんとか大丈夫になったので、この4月から始めた、という経緯の「いのちの授業」でした。

今日は地球の起源からの命のつながりを子どもに語っていました。生命誕生までに6億年、多細胞生物誕生までさらに28億年。

4年生の子が言いました。
「そうすると、こうして今生きてるのって奇跡だね。」
—— そうねえ。

元先生は、今も先生でした。



かながわ元気な学校づくり通信『はにい』とは、
学校が元気になるように・・・
先生の仕事を受けて
学校に携わる大人たちがしていることを受けて
そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる
そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp